

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第274号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2009年2月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

東海大学進学相談会開催

感動のヨーロッパ研修 見聞を広めて無事帰国



大学の先生による学科の説明



熱心に聞き入る生徒と保護者



部員全員で合唱付きの演奏(吹奏楽部第19回定期演奏会 ミューザ川崎にて)

第28回 付属高校生のための ヨーロッパ研修旅行

2008年12月18日から28日まで、全国の付属高校生が集まりヨーロッパ研修旅行に行ってきました。まずデンマークにある東海大学ヨーロッパ学術センターを訪れ、松前重義先生の建学の精神に改めて触れました。その後、街全体がクリスマスのイルミネーションで飾られたドイツ、オーストリア、フランス各国を訪れました。食事も、流れている時間も違うヨーロッパの文化に触れ、生徒たちは多くのことを学んだようでした。



ニンフェンブルグ宮殿の前で

目にしたヨーロッパ



大沼 雄貴
2年4組 足立区立東綾瀬中学校出身

私が今回ヨーロッパ研修旅行に参加したのは、以前からヨーロッパの文化や建物に興味があり、実際に歴史的な建物やそこに住む人々と接したいと思ったからです。この研修ではデンマーク、ドイツ、オーストリア、フランスの4か国を巡り、私はたくさんのものを得ることができました。特にデンマークのような北欧の国は他のヨーロッパ諸国に比べ、行く機会が少ないものです。実際にヨーロッパの街並みや建物を目にした時、私はこの研修に参加してよかったなと思いました。デンマークのコペンハーゲンの街並み、ドイツのノイシュバンシュタイン城、これ以外にもこの研修で見ることのできたものすべてがとても大切なものになりました。その中でも特に心を動かされたのはノイシュバンシュタイン城でした。ここはディズニーランドのシンデレラ城のモデルとして日本では有名ですが、ガイドさんの説明でこの城にはたくさんの歴史があることがわかりました。この城は当時のドイツの経済を圧迫するほど巨大なお金をかけてできた城で、しかもバイエルン王ルートヴィヒ2世が自分の趣味だけで建てた実用に向かない城だということです。王様が国を傾けるほど金をかけるなんて…と驚きました。そしてこの城は外観だけでなく中の装飾もシャンデリアや彫刻、壁画もすばらしいものでした。しかし一番感動したのは、そういった美術品ではなくて城から見た町の景色でした。一面の銀世界で日本では見られないとても美しい幻想的な世界だったからです。ルートヴィヒ2世は「私が死んだらこの城を破壊するように」と言ったそうです。なぜならこの城と風景すべてを自分のものにしたかったからだそうです。それを聞いて私もこんな素晴らしい城なら誰だって自分だけのものにしたくなるはずだと思いました。

今回の研修では楽しい思いだけでなく怖い思いもしました。オーストリアのザルツブルグの駅で寝台列車に不審者が現れたのです。時間が夜遅くだったとはいえ日本では予期せぬことでした。深夜のホームで電車を待っていると私たちの集団に近づいてくる人がいました。そして私たちの周りをうろろし始めたので「あの人何なんだろ」と思って見ていたら、添乗員さんが「あいつはスリだから気をつけろ。多分ナイフを持って一気にこっちにくるぞ」と言うのを聞いて、驚いたと同時に恐怖心が湧き上がりました。日本では刃物を持った人と遭遇すること自体珍しいし、ましてや命の危険にさらされることもめったにありません。電車に乗れば大丈夫だろうと思いましたが、しかし、その不審者はなんと寝台列車の中にまで入ってきたのです。寝台列車は出発したら逃げ口がありません。さすがにこれは危ないなと思いましたが、出発直前に添乗員さんや先生方が私たちから不審者を遠ざけてくださり、なんとか危機を脱することができました。

今回の研修旅行ではヨーロッパの文化を知るだけでなく、さまざまな体験が私を大きく成長させてくれました。怖い目にも遭ったことも含めて、それを含めてこの研修旅行を有意義なものにできたと思います。今回学んだことが将来や今後の生活に役立てていけたらいいと思います。



ノイシュバンシュタイン城の前で

2008年度学校運営方針

キャリア教育の充実

キャリア教育の充実に対して、全教員で取り組みます。

付属推薦の早期決定に対応し、2学年末には進路志望がほぼ決定できるような指導体制を確立させます。また、体験留学(科目等履修生:東海大学)、HTIC中期留学、長期留学、カナダ中期留学を更に推進し、定着させます。

「特別学力推薦」にも積極的に取り組ませながら、希望者全員が学園内の大学・短期大学に進学できるよう指導します。

1

全教員が統合東海大学などの学部・学科の内容を理解し、適切な進路指導ができるようにします。

2

キャリア教育の充実を図り、1学年から進路指導を徹底、自分の将来像を捉えて大学・学部選びができるように指導します。そして、2学年修了時には進路を決定できるよう指導します。

3

SSH研究開発の成果を学校全体の教育活動に普及させます。また、「中高生を理系進学に繋げるための事業」と連携して、理工系への進路志望をもった生徒(女子生徒を含めた)を育成します。

4

生徒の多様な進路希望を実現させます。

5

3学年後期には、体験留学(科目等履修生)、HTIC長期留学・中期留学、カナダ中期留学、東海大学エクステンションセンターなどへ意欲のある生徒を積極的に参加させ、成果をあげさせます。また、学内では、魅力ある授業(特別講座、訪問授業)を展開します。

東海大学進学相談会開催

1月10日(土)、高校2年生を対象とした「東海大学進学相談会」を開催しました。264名の保護者の方々にもご参加いただきました。大学・短期大学の30名の先生方から直接説明を聞くことができた貴重な機会でした。生徒たちは自分の選んだ2つの関心のある学部の説明を、熱心に聞いていました。3月の付属高校生のためのオープンキャンパスも含め、進路決定に大いに役立てて欲しいものです。



進学相談会を終えて

佐々木 慶介
2年4組 蕨市立第二中学校出身

私たち生徒の中には、高校に入学してくる前から大学のことを考えて入ってきている人がいると思います。私もその1人です。学校で行う進路希望調査や湘南校舎見学などで、自分の希望する進路を着実に決定づけてきました。私の夢は体育教師になることなので、今回の進学相談会では体育学部の説明を受講しました。体育学部は5

生徒より

つの学科から自分の学びたい分野を専門的に学ぶことができ、学科によって就職先も様々です。前までは体育学部というと将来は体育教師という印象が強かったのですが、先生のお話を聞くとそうではなく、今では体育といっても分野が広がっていることを知りました。今回の相談会で印象に残っているのは「今持っている力だけで自分を決めつけない」という言葉です。体育教師は現役で合格するのはとても難しいようですが、自分の可能性を信じて、夢に向かってここからもう1度頑張ろうと強く心に決めました。

大学の先生より

より自分に合った学科を見つけるために

綾部 功
東海大学文学部英語文化コミュニケーション学科 講師

学科を選択する際には、考える要素がたくさんあり、難しさがあると思います。「英語を勉強したい」という希望を例に挙げますと、英語文化コミュニケーション学科がベストの選択である場合もありますし、他の学科の方が良い場合もあります。もとより、全学部学科の学生が外国語教育センターの英語が必修科目になっており、選択科目も履修できます。また、卒業後、実際に英語で発表する機会が多いのは理系だったり、英語圏で正規に日本語を教える場合にも、英語力以外に日本文学を専攻すること（場合によって

は博士号)が必要な場合があったりします。通訳になるにも日英の2ヵ国語に堪能だけでなく、専門知識が必要になり、スポーツ関係の通訳なら体育学部の科目の方が役に立つ可能性もあります。やはり、大学卒業後の進路を考え、それに必要な勉強や資格を調べておくことが大切です。



説明をなさる綾部先生

授業内容については、学科案内や website で簡単な説明はしてありますが、オープンキャンパスなどで授業を実際に受け、不明な点や疑問点を担当の先生に聞いていただくと、入学後のイメージがしやすくなり、学科の絞り込みもしやすくなると思います。

教員研修



政治経済学部、法学部、総合経営学部の先生方と本校教員との質疑応答

午後は、例年同様、教員研修が行われました。30名の大学の先生がご来校されましたので、大学側3~4名に対して本校教員5~6名という8グループに分かれ、忌憚のないお話もお伺いすることができました。今年度はその後さらに、2010年度開設予定の観光学部・観光学科について本校教員全員で文学部・アメリカ文学部の松本亮三先生のお話も伺いました。

スーパーサイエンス教室開催

12月14日(日)、スーパーサイエンス教室を本校で開催しました。スーパーサイエンス教室は、周辺地域の小学校の児童を対象とした科学教室です。午前は東海大学の鈴木恒則先生による科学講座「ピンホールカメラを作ってみよう」、午後はSSHクラスの生徒による体験実験でした。生徒たちは夏休みからいろいろな科学教室に参加し、また数多くの予備実験をしてきました。当日は、小学生はもちろん保護者の方も楽しんで実験に参加していました。生徒たちはこの活動を通して、普段は学ぶことのできないことをたくさん吸収できたと思います。

一期一会 ～小学生との出会い～



鈴木 卓也

3年11組 川崎市立川崎中学校出身

このスーパーサイエンス教室を開催するに当たり、私たちは夏休みにSAS(Society of Advanced Science)主催の「親と子の科学教室」にTA(ティーチングアシスタント)という形で参加してもらい、実際にアシストを行いました。また、当日の午前の部で行った「ピンホールカメラを作ってみよう」に向け、鈴木恒則先生にピンホールカメラの原理について講座を開催していただき、同時に小学生の興味の引き方なども教

えていただきました。このような事前学習での実際のアシストは、初めのうちは慣れず大変でしたが、徐々に慣れてきて、いくらか上手くなったと思いました。

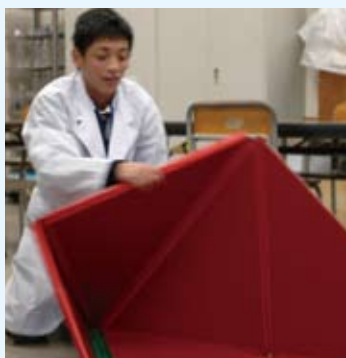
当日の午後に行った体験実験は、「葉脈標本のしおりを制作する」という実験でした。手順を確立するために、物理化学部の中等部生物班に協力してもらい、試行錯誤しながら予備実験を行いました。当日、体験した小学生は目を輝かせて葉脈標本を制作していました。また「家でもやりたい」とおっしゃっていた保護者の方もおられ、好評でとてもやり甲斐がありました。私にとって最後のSSH活動でした。1年から3年までのSSH委員全員で協力し、すばらしいものができたと思います。とても満足しています。



ピンホールカメラ

午後の体験実験

実験内容	担当生徒(学年)
液体窒素とボール	秋元 翔吾(3) 若林 佳祐(2)
大気圧実験	伊藤真由里(2)
燃料電池・果物電池	榎本 充(2) 石井 友基(2)
ドライアイス	皆川 裕希(2)
葉脈標本	鈴木 卓也(3)
ダイラタンシー	黒尾 雅人(3)
割れないシャボン玉	葉山夕里愛(1)
スライム	相馬 大祐(1) 平田 将大(1)
幾何学パズル	昼沢 良介(2)



大きいパズルでわかりやすく解説



にぎってたたいてダイラタンシー



電池のしくみ、わかったかな?

中等部1学年だより

新年を迎えて

中等部に入学して9ヵ月。早くも新年を迎え、昨年の4月は初々しく、幼いばかりだった生徒たちの顔つきも、だんだんと中学生のそれへと変化してきました。皆さんは今年1年をどのような年にしたいでしょうか。少し遅くなってしまいましたが今年1年の抱負を教えてくださいました!

今年の4月には新1年生も入学し、後輩ができます。初めて3学年がそろそろ中等部で、先輩として、後輩として、中等部をしっかりと支えていく存在になってくれることを期待しています。

新年の抱負

今年のご目標

田中 香衣

1年A組 横浜市立立野小学校出身

私は、今年は特に部活動に力を入れたいと思っています。陸上部で短距離走をしています。去年はタイムにムラがあったので、今年は上がり続けるようにしたいです。そのためにはやはり努力が必要です。今年较去年よりも練習量を増やし、精神力も養いたいです。また、私は持久力がないので部活動以外でも走ったりするようにしたいです。

勉強面では、数学がすごく苦手なので、積極的に先生に聞いたり、自主的にノートを見直したりしたいと思っています。

最後に、生活面では友達を大切に、もっともっと楽しい学校生活にしたいです。すべての活動で仲良く、楽しく、元気よく頑張ろうと思っています。

今年のご抱負

野田 雄平

1年B組 江東区立第一大島小学校出身

僕の今年の抱負は、「けがをしないで健康に過ごす」です。なぜこれにしたのかというと、去年は自分の不注意で軽いけがを3回もしてしまったからです。僕は学校での部活動の他に、地域の野球チームに所属しているのですが、そのせいで野球の練習は2週間くらいきちんとできず、部活動も出られませんでした。自分の不注意でしたいことができないということはとてももったいないことだと思いました。今年はそのようなことをなくし、部活動や野球を頑張りたい結果を出したいと思っています。

4月からは2年生になり、後輩が入ってきます。僕は、後輩という立場から先輩という立場にもなります。先輩の足をひっぱることなく、この学校をいい学校にしていけるように頑張りたいです。

新年を迎えた生徒の様子



年最初の朝礼



校長先生の話を真剣に



頭髪検査で身だしなみチェック!!



さっそく授業開始!!



休み時間はA組もB組も仲よし



飛躍1月号だ!!

中等部2学年だより

新年を迎えて

新年を迎えた時、多くの人がある年の目標や抱負を持つものです。先日、中等部2学年の生徒たちに新年の抱負を短歌で読んでもらいました。みんなさまざまな想いを持っていることがよくわかりました。今回はその中で2人の生徒に新年の抱負を語ってもらいました。

新年の抱負

中等部最後の1年の目標

大竹 悠仙

2年A組 川崎市立木月小学校出身

僕は陸上部に所属し、走り高跳びをしています。これまでは120cmまでしか飛べなかったのですが、最近では130cmまで飛べるようになりました。今年は140cmまで飛べるように努力したいと思っています。

勉強では僕は英語がとても苦手です。来年2月にはニュージーランドの研修旅行があります。それまでに日常会話くらいできるように英語の勉強を頑張っていきたいと思います。

また、僕は健康には自信があるのですが、去年は風邪をひいて2日休んでしまいました。今年は遅刻などをせず、病気にもならず皆勤賞を取りたいと考えています。

今年だけでなく、今後もずっと楽しい学校生活や日常生活を送っていければいいなと思います。

中等部最上級生として

小山内 雄

2年B組 品川区立鈴ヶ森小学校出身

新年を迎えて、僕は3つの目標をたてました。

1つ目は部活動を頑張って、記録を伸ばすことです。僕は陸上部で砲丸投げをしています。自分よりも良い成績の人をうらやましく思うのではなく、自分の努力で自信をつけたいと思います。

2つ目は、得意ではない教科もしっかり勉強することです。これから、勉強の内容がどんどん難しくなってくると思うので、分らなくならないようにしたいです。

3つ目は、中等部最上級生として、もっとしっかりとした行動をすることです。春には中等部が3学年そろうので、下級生に恥ずかしくない行動ができるようにしたいです。

以上の目標を忘れないように、今年1年間頑張っていくつもりです。

新年を迎えた生徒の様子



新年もさっぱりヘアです！



お正月と気持ちを入れ替えて授業に臨みます



今年もお掃除頑張ろう！



みんな仲良く風邪予防☆



見よ！この真剣なまなざし！



2009年も愉快な中等部2学年☆

高校1学年だより

失敗、努力、そして…

高校1学年主任 米谷 昭人

これは、元NBAのスーパースターのマイケル・ジョーダンさんのあるインタビューでの言葉です。「私は9000本以上のシュートをミスした。300の試合に負けた。ウイニングショットを26回はずした。私は生涯の中で何度も何度も何度も失敗を繰り返してきた。」マイケル・ジョーダンというスーパースターでさえ失敗や挫折を経験し、そのたびに再び立ち上がりまた努力を続けていく…。素晴らしいです。

私は、何か新しいことをはじめようとするとき、失敗を恐れてなかなか取り組めないことがあります。そんなときはマイケル・ジョーダンさんのこの言葉を思い出し、失敗を恐れずにチャレンジしようと心掛けています。皆さんも何かを続けていく過程で失敗や、挫折をするかもしれません。しかしそこからまたあらたな道が拓けると思います。そのときこの言葉を思い出して頑張ってください。

マイケル・ジョーダンさんの言葉の最後は「そして、それが私の成功の理由だ。」で締めくくられています。皆さんもたくさん失敗をして、成功を手に入れましょう。

初心

8組学級担任 大畑 輝明

「幼い日、まだ西も東もわからない頃、やさしい母から時には厳しく、厳しい父から時にはやさしく、ハシの持ち方からクツのはき方まで、手に手をとって教えてもらった。時にはケンカをしながらも兄から教えてもらったこともあるし、姉から導かれたこともある。

小学校の先生からも隣のおばさんからも、折りにふれて、いろいろなことを教えられ、それを素直に聞きつつまた自分でも考え、そして次第に成長していった。

それがいつのまにか、他人の言をおろそかにするようになる。われ成長せりと思うからだろうけれど、どんなに

成長しても他人の言うことに耳を傾ける心を失ったらそれはもはや自分を失うことにもなりかねない。”初心にかえる”とは、あの幼き日、人に教えられ人に導かれていたあの頃の素直な心をとりのどすことではあるまいか」

松下幸之助さんの言葉です。

高校生活を1年近く送り、今までとは大きな環境の変化があったと思います。また、精神的にも大きな変化があったのではないのでしょうか。両親との関わりや、教員との関わり、友達や先輩との関わりの中で色々なことを経験したからこそ、人として成長できたのだと思います。

1年生でいられる期間もあとわずかです。この時期だからこそ「初心」にかえて、自分自身を見つめ、2年生になる心の準備をして欲しいと思います。



バレーボールで勝利! スポーツ大会



綱引きウオー



8組全員集合

高校2学年だよ

なんで勉強しなきゃいけないの？

5組学級担任 長田 一水

みんなは何のために勉強するのですか？おそらく、“進学のため”というのが大きな目的でしょう。でも中には、“こんな難しいこと(特に、物理や数学などは…)やって何の意味があるの？”“役になんか立たないし…”と感じている人も多いでしょう。実際、僕もそんなことを考えながら高校生活を送っていた気がします。ところが、芸人であり映画監督の北野武さんが、数年前にTV番組でこんなことを言っていました。

「知人の映画監督は興味深い映画の撮影方法をやる。例えば、殺人犯Aがいる。B、C、Dは殺される被害者。たいていの映画監督はAがBを刺し、AがCの首を絞め、AがDをピストルで…なんて怖いシーンを撮影していくわけだけど、ある映画監督は違うんだ。すでに死んでいるB、C、Dを見せた後、最後にAが血のついたナイフを持っているシーンを撮るわけ。それで終わり。この撮影方法について監督は“わざわざ細かい部分まで撮る必要なんてない。それだけで視聴者には十分に

伝わるし、推理させることもできるので、より面白い映画になる”と。この撮影方法は数学の因数分解に似ているんだよね。 $AB+AC+AD$ が普通の方法で、 $A(B+C+D)$ がその映画監督。もちろん因数分解を意識して撮影しているわけじゃないけど、その考え方が活きている。因数分解なんて何のために学ぶのか分からないし、意味がないように思えるけど何かの役には立っているのかもしれない]

数学の因数分解が将来何の役に立つのか、と言われてれば誰もが納得する明確な答えなどありませんし、映画監督という職業は特殊なものです。だけど、みんながこれから生きていく中で、高校時代に学んだ数学や物理の考え方、その他すべての教科の学習が無意識のうちに活かされるシーンが訪れるかもしれません。必ず訪れるとは言い切れませんが、そんなプラス思考で普段の授業に臨むことも良いのではないのでしょうか。勉強して損することは絶対にありません。得もしないかもしれませんが、マイナスになることもないのなら、やってみる価値あり! だと思います。

パレートの法則

6組学級担任 今井 貴志

皆さんは「パレートの法則」って聞いたことありますか？別名2：8の法則とも言われるものです。有名な話なので一度は耳にしたことがあるかもしれませんが、少し触れておきます。元々はイタリアの経済学者のパレートが、19世紀イギリスの資産分布を調査したところ、20%の富裕層にイギリスの総資産の80%が集中していることを発見したことを指しています。要するに一部の大金持ちに財産は集中しているということです。まるで現在の格差社会を予言していたかのようですね。この法則をもとに働きアリの観察を行った学者がいるそうなのですが、驚くべきことに働きアリの中にも「働かないアリ」がいたそうなのです。その割合がパレートの法則と同じように2：8だったというのです。仮に働かないアリが20%だったとしましょう。ではその働かない20%のアリだけを集めたらど

うなるのかというと、その内の20%は相変わらず働かなかったそうですが、残りの80%はシャキッと働き出したそうです。逆に働き者の80%だけを集めても同じようにその中の20%は働かないアリになってしまうそうです。

この話を皆さんはどのように受け止めますか？色んな考えが浮かぶと思います。真面目・不真面目は生まれつきの性格じゃないんだ、環境によって人は変わるんだ、働かない存在も必要なんじゃないの、などでしょうか。でもね、皆さん、このアリの話全く根拠がないらしいですよ。ある大学の実験でも確証は得られなかったようです。それでもこの話が有名なのは、この話をもとに教訓を与えたがる人が多いからじゃないのでしょうか。「働かないアリ」も話によっては8割だったりします。

結局私が言いたいことは、皆さんに「真理を見抜く目」を身に付けて欲しいということです。虚言妄言に惑わされることなかれ!

高校3学年だより

いつもここに・・・

学年所属 宮島 孝一

経営の神様と言われる松下電器産業（現・パナソニック）の創始者・松下幸之助さんは、新入社員を見定める時に、あるシンプルな面接試験での質問でその資質を見極めていたそうです。その質問とは、「あなたはこれまで運が良い方でしたか？それとも運が悪い方でしたか？」というものだったそうです。みなさんは、採用に近いのはどちらの考え方だと思いますか？

松下さんは、「運の良い方です」と答える学生を高く評価していたそうです。これは、自ら「運が良い」と答えられる人は、これまでの成功が他者（外部）からの協力・助言があって成功したと考えられる「謙虚な人間」とであると判断できたからだそうです。

謙虚な気持ちを持っている人は「感謝」を忘れません。良い時はもちろん、悪い時も前向きに、ましてや運のせいにせず、一生懸命に取り組める人だということです。

あなたの周りを見渡してみても、本当に人間的に魅力ある人はどんな人ですか？ いつも「あいつのせいだよー!」「あの時よー!」と文句を言い散らしている人ではないですよね。謙虚な気持ちは伝染します。小さなことにも感謝の気持ちを持って、お互いが気分の良い社会・学校にいきましょう。

特別講座

7組学級担任 橋 健治

卒業試験終了後の12月10日（水）から1月30日（金）まで、3年生の生徒たちは特別講座の授業を受けました。生徒たちは朝、元のクラスでホームルームを終えると、進学先によって分けられた特別講座用のクラスへと分かれ、6時間授業が終了した後は帰りのホームルームのために、また元のクラスへ戻ります。慣れないクラスで最初は緊張していたようですが、次第に落ち着いてきて、しっかり勉強に取り組んでいました。また、特別講座期間中には、大学の先生方による高校への訪問授業や、生徒たちが大学の研究室を訪れる研究室訪問が行われ、いよいよ生徒たちも高校生から大学生へと移行していくのだということが実感できたようです。また、今年度から、他大学受験生のための講座が設けられました。生徒たちは張り詰めた緊張感の中、志望校合格に向けて懸命に頑張っていました。

特別講座期間中うれしかったのは、帰りのホームルームのために教室へ戻って来る生徒たちを待っていると、「ただいま」「やっぱりこのクラスにもどって来ると落ち着くね」などという声が聞こえてきたことです。何はともあれ、元々のクラスでみんなが揃うのもあと3日となりました。1時間、1分を大切に過ごしてほしいと思います。今後は、進路先が決まっている生徒たちが引き続きそれぞれの進路に向けた準備を頑張り続け、受験生たちが希望の進路を確定し、全員揃って無事卒業式を迎えてほしいと思います。



東証アローズの見学



指編みでタワシ作り



大学の先生の訪問授業



日本科学未来館訪問

SSH活動報告

リベラルサイエンス(数学)は4回の講座(ユニット)で構成されています。12月13日(土)に行われた第2回の講座では、東海大学代々木校舎を訪問し、身近な数学や数学の実用性を実感する教具に触れてきました。12月20日(土)には、まとめとしてポスターセッションを行いました。また、12月6日(土)には科学英語プレゼンテーションの最終回が行われました。1年生のSSH活動も終わりに近づき、生徒たちの能力も伸びてきているように感じます。

代々木校舎に行って

中溝 恵太

1年9組 世田谷区立瀬田中学校出身

今回リベラルサイエンス数学の一環として代々木校舎を訪れました。様々なレクチャーを受けて感じたことは、数学の奥深さと面白さです。

レクチャーは、目盛りがなくても1リットル刻みに計りとることができる万能マスやCDに使われている誤り訂正符号理論、四面体から十二面体まですべて同じものを組み合わせて作ることができる多面体のアトムのお話などがありました。普段の授業では計算ばかりなので、新鮮な講義でした。

レクチャーの間に見学したMA展(Mathematical Art展)も三平方の定理や円の面積、球の体積・表面積を求める公式を視覚的に理解することのできる装置から、マンホールの蓋が丸型の理由、ロータリーエンジンの仕組みなど日常にある数学までどれも面白かったです。

代々木校舎での数学に関するレクチャーを受けて、こういった数学の面白さ、奥深さを積極的に学んでいきたいと思いました。



せっけん膜を用いた最短経路の実験



学んだことをポスターで発表

初めてのポスターセッション

石原 昂典

1年9組 大田区立南大郷中学校出身

今回、リベラルサイエンス数学ということで私たち1年生SSHクラスはポスターを作製しました。私たちが作ったポスターは、定幅定理についてでした。定幅定理とは定幅図形のことを指します。定幅図形とは差渡しの幅が常に一定となる平面図形のことをいい、その例として円やルーローの三角形が挙げられます。今回、このポスターを作るのにあたって課題がありました。それは、文字を一切書かないということです。これは、思っていた以上にかなり大変でした。私たちの班は、円や三角形などを書くためかなり苦労しましたが、出来上がってみるとなかなかの出来でした。そして、実際に発表してみると、最初はどこの班もまだどっていました、やっているうちに工夫していき、最後には楽しくなりました。今回、今までやったことのない形式の発表で、不安などがたくさんありましたがやってみると楽しくとてもよい経験になったと思います。

今の僕とプレゼン

平田 将大

1年9組 千葉大学教育学部附属中学校出身

最初、英語でプレゼンテーションをすると聞いた時はどのようにしたらよいのか全く見当もつきませんでした。というのも、僕は英語が苦手で、とてもプレゼンテーションをするような状況ではなかったからです。6月にギャリー先生への自己紹介の原稿を作る時も、ほとんどを先生に直されるという状況でした。しかし、実際にギャリー先生の授業を受けてみると難しい単語や文法を使わなくとも、伝えようとする気持ちがあればいいのだと知り、安心しました。また、ギャリー先生のパワーもこれに繋がったと思います。その後、運よくスピーチコンテストへ出場できた時も、難しい単語を使わなくとも、伝えようとする気持ちをしっかりと持ち発表することができました。

僕は、何回かプレゼンテーションをしてきました。その中で培った経験は、今の僕を支えていると思います。ギャリー先生の「自分の殻から飛び出せ」という言葉を胸にこれからも励んでいきたいと思っています。



ジェスチャーは完璧です!

お知らせ

基礎力判定テスト 高1、高2

■日程 2月6日(金) ■試験科目 国語・地歴公民・数学・理科・英語

高校生として身につけておく必要のある基礎学力のチェックです。
これまでの学園基礎学力定着度試験、外部テスト、定期テストを再度見直して復習を!!

希望を星につなげ! 関東大会出場

スキー部 関東高等学校スキー大会 1月26日～28日 尾瀬戸倉スノーパーク
3年8組 大宮 祥徳 1年8組 本田 憲教

レスリング 関東高等学校選抜レスリング大会 1月30日～2月1日 駒沢オリンピック公園体育館
2年7組 澤 裕喜

行事予定

February 2月

March 3月

- 1日(日) 中等部第1回入試(中高 自宅学習日)
- 2日(月) 中等部第1回入試合否発表
振替休日(中高 自宅学習日)
- 3日(火) 中等部第2回入試(中高 自宅学習日)
- 4日(水) 中等部第2回入試合否発表
- 5日(木) 朝礼(高1、2、中等部)
- 6日(金) 基礎力判定テスト(5教科)(高1、2)
- 7日(土) 漢検(希望者)
- 9日(月) 水曜日授業
- 10日(火) 高校一般入試(中高 自宅学習日)
- 11日(水) 建国記念の日
高校一般入試合否発表
- 12日(木) 高校一般入学手続(平常授業)
生徒による授業評価アンケート(高1、2、中等部)
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング
- 19日(木) 校医相談日
- 22日(日) 英検二次
- 26日(木) 登校日(高3)

- 3日(火) 後期期末試験(高1、高2)(～6日まで)
- 4日(水) 後期期末試験(中等部)(～6日まで)
- 6日(金) 後期期末試験最終日
3年生を送る会、高輪会入会式(高3)
- 7日(土) 第60回卒業証書授与式(10:00)
卒業祝賀会(14:30)
- 8日(日) 附属高校生のための東海大学オープンキャンパス(高2 湘南校舎)
- 9日(月) 採点日(高校生生徒休業日)
- 10日(火) 答案返却日、教科書販売(新高3)
- 11日(水) 生徒休業日
- 12日(木) 成績不振者指導
- 13日(金) 修了式、離任式
教科書販売(新高2)
- 18日(水) 基礎力判定テスト結果補習(高1、高2 ～25日まで)
希望者講習(中等部 ～25日まで)
- 21日(土) 後援会委員総会
- 29日(日) FEST帰国

教職員の救命講習



編集後記

昨年暮れ、東京千代田区に「村」が出現した。不況のあおりで仕事と住まいを失った人たちのための「年越し派遣村」だ。テレビに映る「村人」を見ながら、働くことを国民の「義務」と同時に「権利」としても定めている日本国憲法を思った。昨年の「ディベート甲子園」の高校論題「日本は労働者派遣制度を禁止すべきである」で、今試合をしたら否定側は圧倒的に不利だろう。それにしても、「労働力」は商品であっても、「労働者」はレンタル商品ではないはずだが…。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>